

計画を活用して、避難訓練をしましょう！

- 1** 訓練のシナリオ・役割分担を決めましょう
 - いつ、どこで、どんな災害を想定して開催するのか、計画を立てましょう。
 - 訓練への参加を広く呼びかけ、役割分担をしましょう。
 - 避難経路の確認をしましょう。
- 2** 地域にどんな資機材があるのかを確認し、必要なものをそろえましょう
 - 避難行動要支援者の避難に利用できる車いすやリヤカー、担架等の資機材が、どれだけあるのか確認しましょう。
 - 操作方法も確認しましょう。
- 3** 避難所まで避難してみましょう
 - 避難経路に危険な箇所がないか確認しましょう。
 - 所要時間も計ってみましょう。
- 4** 訓練を振り返りましょう
 - 計画どおりにできたところ、難しかったところを話し合しましょう。
 - より安全確実な避難ができるように、出た意見をもとに計画を修正しましょう。

兵庫県の防災訓練支援事業を Web でチェック！

ひょうご安全の日推進県民会議事務局
<https://19950117hyogo.jp>

ひょうご防災特別推進員の派遣

「ひょうご防災特別推進員」を派遣（無償）し、防災対策に関する講義や防災訓練の企画・運営の助言等の支援を行っています。

【お問い合わせ先】
 兵庫県消防保安課
 TEL：078-362-9819
 FAX：078-362-9915



ひょうご安全の日推進事業助成事業（実践活動事業）

自主防災組織、自治会等において行う実践的な防災訓練や防災学習（防災教育施設への見学を含む）等に対して、必要な経費の助成を行っています。また、防災訓練等を実施するために必要な防災資機材の購入経費を加算助成しています。

【お問い合わせ先】
 兵庫県防災支援課
 TEL：078-362-9984
 FAX：078-362-4459



避難に時間のかかる
**高齢者や障害のある人は、
 警戒レベル3高齢者等避難で
 危険な場所から避難
 しましょう。**

警戒レベル	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	災害発生又は報道 緊急安全確保 ※1	災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
4	災害のおそれ高い 避難指示 ※2	避難指示(緊急) 避難勧告
3	災害のおそれあり 高齢者等避難 ※3	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。
 ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。
 ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル4
 『避難指示』で、必ず避難！
 令和3年5月20日『避難勧告』は
 廃止されました。



よくある質問 (Q&A)

- Q1 避難行動要支援者の個別避難計画は、必ず作らなければならないのですか。
 A1 避難行動要支援者の命を地域全体で守るためには、事前の計画作成が必要です。すぐに作ることが難しい場合は、危険な場所に住んでいる方から計画作成に着手しましょう。
- Q2 隣近所の方と、ほとんど面識がありません。避難支援者は家が近くの方ではないといけませんか。
 A2 近くの方が望ましいですが、同じ町内の方などでも良いでしょう。避難の際は、警戒レベルを意識し早めに連絡を取り合うなど、早期避難できるよう工夫しましょう。
- Q3 隣近所等で避難を助けてくれる人がいるので、自分たちで作成しても良いですか。
 A3 本人・家族と隣近所等で計画が作れる場合は作成してください。作成した計画内容を自主防災組織、民生委員等の避難支援等関係者と共有してください。
- Q4 避難行動要支援者の個人情報についてはどうなりますか。
 A4 名簿や計画の情報提供を受けた方や避難支援等の実施に携わる方又は携わっていた方は、災害時等を除き、正当な理由がないと避難行動要支援者に関して知り得た秘密を漏らしてはならないと法律で定められています。
- Q5 万が一助けることができなかつたらと不安があるのですが。
 A5 避難支援者の安全確保が大前提です。災害時の助け合いは「共助」の精神を基に成り立つものですので、助ける側の命を犠牲にしてまで助けを求められるものではなく、万が一、助けられなくても責められるものではありません。
- Q6 避難支援者の方を支援できる仕組みはありますか。
 A6 訓練に参加した場合等の保険がありますので参考にしてください。
 兵庫県社会福祉協議会 <https://www.hyogo-wel.or.jp/public/volunteer.php>
 消防庁 <https://www.nissho.or.jp/contents/static/hoshou/hoshou.html>

この冊子に関する
 お問い合わせ先

兵庫県危機管理部防災支援課
 TEL：078-362-9870 FAX：078-362-4459
 E-mail：bosaisien@pref.hyogo.lg.jp



2 避難をするのに支援が必要な避難行動要支援者に対して、避難等の支援に協力いただける方（避難支援等実施者）を複数人選任しましょう。



普段の生活、身体状況、誰がどのように避難を支援するか、避難経路…。本人、家族と地域の関係者、福祉専門職で検討しています。

避難訓練の様子

3 自治会役員や民生委員、避難支援等実施者、本人、福祉専門職等とで情報伝達方法、避難経路、避難方法等について相談し、自宅から避難先までに危険箇所はないか、ハザードマップで確認し、個別避難計画をまとめましょう。計画作成後は、計画に基づく避難訓練を行い、改善点を計画に反映させましょう。



みんなで作った個別避難計画に沿って、避難訓練をしてみましょう。介助の方法、移動手段、経路…新たに気づいたことをみんなで話し合っ、個別避難計画に反映させましょう。

ステップアップ!

私が作る・みんなで作る個別避難計画 ~『防災対応力向上シート』を使ってみよう!~

『防災対応力向上シート』とは、災害に備える段階から、災害が迫った時や起こった時の行動までを確認できる、どなたにでも使って頂けるシートです。「基本情報」「マイ・タイムライン」「防災チェックリスト」の3つのシートで構成されています。

★「兵庫県社会福祉士会HP」(http://hacsw.or.jp) からダウンロードできます。

■基本情報

氏名、緊急連絡先等の基本的な情報から、住居やハザード、ペットの有無といった生活環境、心身の状況や介護・医療に関する情報、避難先や避難方法、所要時間等をまとめたシートです。

■マイ・タイムライン

台風や大雨といった一定の予測が可能な風水害に備えて、事前に「いつ」「どのような行動をとるか」を整理したシートです。「私の行動」と「地域（支援者）の行動」を連動させておくことで、地域でのよりスムーズな避難へとつながります。

本人と家族、地域、福祉専門職等が協力して、「基本情報」と「マイ・タイムライン」に記入し、必要に応じて避難経路を添付することで、「個別避難計画」として活用することができます。「①基本情報」「②避難支援者情報」「③避難先」「④本人の同意署名」への記入が不可欠となります。また、兵庫県や市町独自の個別避難計画の様式を補完するツールとして、「マイ・タイムライン」や「防災チェックリスト」だけを取り出して使うことも可能です。

■防災チェックリスト

災害への備えを確認するシートです。避難時や避難生活で必要となる物資をはじめ、住まいや連絡手段等についてもチェックできます。用意が完了した項目には○印を、不要な項目は取り消し線で消しましょう。

「①購入しよう」から「⑦避難できますか」で○印がつかなかった項目は「!考えよう」の欄に転記します。「!考えよう」に記載された内容は、家族や避難支援等関係者と相談して、事前の準備ができるように対応方法を考えましょう。

『防災対応力向上シート』～基本情報～

災害発生時に地域の支援者と安全に避難できるよう、「私に必要なこと」を理解してもらうために、私に関する情報を関係機関・者と共有することに同意します。

作成日: 令和3年7月13日

作成者: 兵庫県 夢前 岩男

氏名: 夢前 岩男 (男) 大正 昭和 平成 令和 西暦 10年1月24日 (86歳)

住所: 兵庫県伊丹市みずみわ町あけぼの2525

緊急連絡先: ① 市島 幸子 (姉) 電話: 079-XXXX-XXXX 居住地: 大阪府大阪市

② 夢前 純男 (弟) 電話: 079-XXXX-XXXX 居住地: 京都府京都市

住まい: 水通、鉄骨、鉄筋、1階居住

ハザード情報: ① 洪水 (浸水区域内) ② 土砂災害 (警戒区域内) ③ 津波 (警戒区域内)

避難先: 1 避難先1 朝日小学校 (徒歩15分) 2 避難先2 自宅の隣の空き家 (徒歩5分)

避難所要時間: 15分 + 持ち出しの準備 10分 + 家の戸締まり 10分 = 合計 45分

ペット: 犬 1匹 (花子)

緊急時の情報伝達・特記事項: 高齢者のため、ゆっくりと丁寧に話しかける。避難準備開始時に避難の呼びかけ、玄関の呼びかけは、必ず行う。避難の呼びかけは、必ず行う。避難の呼びかけは、必ず行う。

『防災対応力向上シート』～マイ・タイムライン～

私の行動 (記入日: 令和3年7月13日)

地域(支援者)の行動 (記入日: 令和3年7月13日)

警戒レベル 1: 気象情報の確認を始める(テレビ・ラジオ) 家の周りの点検と片付け(雨前準備) 避難先・避難経路の確認 水・食料・ガソリン・服用品の準備 避難先(親戚・知人宅)へ連絡 家族からケアマネへ連絡

警戒レベル 2: 気象情報の確認(テレビ・ラジオ) 避難経路をハザードマップ等で確認 非常用持ち出し袋の準備(花子用) 地域の支援者への連絡 家族へ連絡 花子ともについで(花子の準備開始) ケアマネへ連絡(花子の準備開始)

警戒レベル 3: ガスの元栓を閉める プレーカーを運転する 戸締まりをする 避難先(親戚宅)へ連絡 個別避難計画に沿って避難開始

警戒レベル 4: 全員避難!

警戒レベル 5: 命の危険 直ちに安全確保!

自由記述欄: 避難訓練の注意事項など

氏名: 夢前 岩男

『防災対応力向上シート』 夢前 岩男 さんの 防災チェックリスト

1 購入しよう

2 準備しよう

3 確認しよう

4 点検しましたか

5 連絡できますか

6 ペットがいますか

7 避難できますか

! 考えよう

地震に備えて…(枕元に備えておくと安心)

A 靴・靴下 B 軍手・手袋 C 帽子・ヘルメット

作成者: (氏名) 兵庫県 夢前 岩男 (職柄) 兵庫県社会福祉士会 連絡先 079-XXXX-XXXX 6/11 7/5

確認日 令和3年 5月

次回確認日 令和4年 9月

家族や支援者の協力が必要な項目を記入します

番号	課題	誰が	いつまでに	何を
4-②	(例)耐震チェックをする	長男	○月×日ごろ	市役所に方法を確認する
1-①	水と食料の購入	本人	5月末ごろ	購入する。備蓄に水を入れる
2	非常用持ち出し袋の準備	本人・長女	7月末ごろ	購入する。準備する
4-④	耐震チェック、家具転倒防止の確認	本人・長女	7月末ごろ	申請書を出す
5-②	使い方を覚える	ケアマネジャー	8月末ごろ	練習する(家族と相談する)
5-③	緊急連絡カードの作成	ケアマネジャー	7月末ごろ	作成し、保険証と一緒に保管
7-④	話し合いが必要	本人・長女・長男	避難訓練まで	取り決める
7-⑤	避難が必要	ケアマネジャー	6月末ごろ	申請書を出す
7-⑥	地域の支援者と決める	本人・長女・ケアマネジャー・地域住民	避難訓練まで	個別避難計画を作成し、避難訓練に参加する
7-⑦	訓練に参加する	本人・長女	避難訓練まで	音読をつけ、おもてなし
6	ケージを使うようになる	本人・長女	避難訓練まで	ケージ購入、入る練習をする